

健診診査及び各種がん検診

4月下旬から5月上旬にかけて、健診（検診）関係書類を保健推進員さんを通じてお届けします。健診受診の際に必要な書類ですので、大事に保管しておいてください。

変更になったこと

- * 人間ドックの申込みをされた方には「人間ドック受診券」も一緒に送付します。書類が届いてから**8月末までにご希望の医療機関に直接ご予約ください。**（※博愛病院は7月から申込み受付を開始します）
- * 6月から始まる**集団健診のセット健診（検診）はすべて予約が必要となりました。**1週間前までに保健課へご連絡ください。（※町内を巡回する肺がん、大腸がん検診は予約不要です）
- * 昨年度から大腸がん検診は、1日1本ずつ2日間で2本の検体を取る方法になっています。

その他

- * 対象になる方に無料クーポン券を5月中に送付する予定です。
- * 脳ドックの対象になる方に5月中に案内を送付します。多数申込みがあった場合は、抽選となりますのでご了承ください。



通知	検診種類	対象年齢
無料クーポン	大腸がん検診	今年度中（平成25年4月1日～平成26年3月31日の間）に41歳、46歳、51歳、56歳、61歳になる方
	肝炎ウイルス検査	
	乳がん検診	
	子宮がん検診	今年度中に21歳、26歳、31歳、36歳、41歳になる方
案内	脳ドック	今年度中に50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる方

◆問い合わせ先 保健課 ☎0859-54-5206

「はるかの窓口」をどう存じますか？

住み慣れた自宅で家族に看取られたいと多くの方は望んでいても、さまざまな不安から病院で最期を迎える方が多いのが現状です。

大山町では、そのような方の希望をかなえるために「はるかの窓口」を設けています。

在宅での看取りを希望する場合

本人と家族が希望される場合、まず「主治医」や「はるかの窓口」にご相談ください。お話をしたうえで、希望される場合は、「はるかの窓口」に登録をしていただきます。

なお、「はるかの窓口」に登録できるのは、主治医が町内である場合に限りです。終末期になると主治医が、「はるかの窓口」に終末期になったことを連絡します。「はるかの窓口」は、看取りの協力医に病状などの情報を知らせます。

実際に自宅で看取りが行われる場合

主治医が不在の時に看取りの協力医に自宅での看取り（看取りの診察依頼は、呼吸停止をした時になります）をお願いできます。ただし、看取りの協力医と連絡がつかない時は対応できないことがあります。

在宅で看取りをすることに、気持ちが揺れた場合

在宅での終末期医療や看取りを希望されていても、病状が悪化したり、気持ちが揺れた時は、登録を取り消すことができます。

* 看取りの協力医とは：主治医が不在の際に、代わりに看取りを行う町内の医師。「はるかの窓口」に登録する際に決定します。

◆問い合わせ先

大山町地域包括支援センター内「はるかの窓口」

☎0859・54・2226